

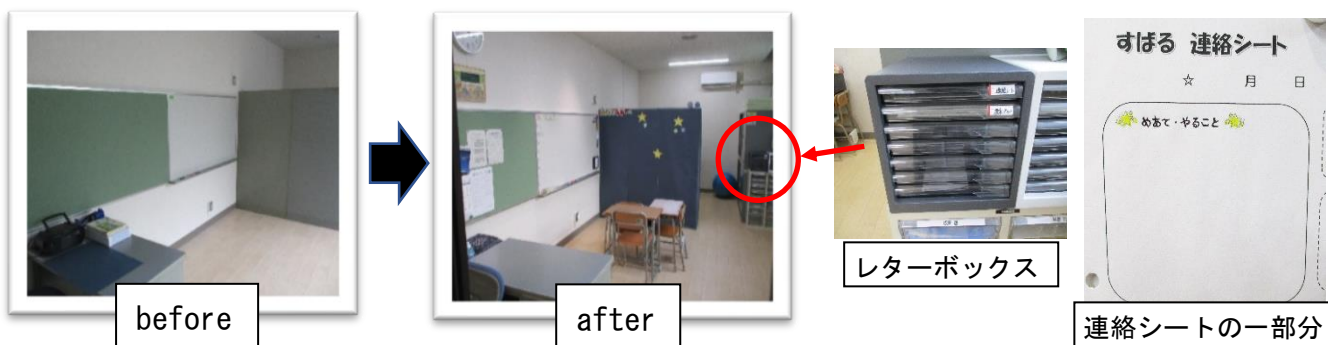
かがやくすばる

名古屋市立自由ヶ丘小学校
通級指導教室通信

第2号 令和2年9月11日発行

9月に入り、朝夕は幾らか過ごしやすくなってきました。すばるでは、室内温度を調整し、快適な空間で集中して学習に取り組むことができるように心掛けております。

今年度新設した「すばる」は、年度当初、教室内には、机やホワイトボードなど必要最低限の物があるだけで、ほとんど何もない状態でした。どのような物や教材が必要か考え、少しずつ物を増やし、下の写真のようにやっと教室らしくなってきました！



すばるに通う児童には、教室に入ったら最初に、レターボックスから連絡シートを出し、ホワイトボードに書いてある「めあて」と「やること」を写すように指導しています。この一連の流れを習慣化することで、学級の授業でも、進んで教科書やノートなど、必要な物を自分から出し、黒板に書かれているめあてを書くことができるようになってほしい、というねらいがあります。授業の始めに遅れることなく、気持ちのよいスタートをきることができるようになってほしいと思います。

すばるの授業紹介

すばるでは、一人一人授業の内容が違います。児童の特性に合わせて授業を考えています。この通信で、どのような授業をしているのか少しずつ紹介していこうと思います。

今回紹介するのは、聞く力を付ける学習「きくきくドリル」です。

教材のCDから流れる音声を聞いて、その音は何の音か当てたり、指示に従ってプリントに取り組んだりします。「聞く力」というのは、とても大切な力です。一斉授業の場面では、担任の先生が話す内容に注意を向け、聞き取り、内容を理解し、行動に移すということが必要です。場合によっては、聞きながら作業を進めることも必要になってきます。学習につまずいている児童の中には、学習内容が難しいからではなく、この「聞く」段階でつまずいているという子も少なくありません。

学級の一斉授業では、聞くことに難しさを抱えている児童も、すばるの学習では、集中して音を聞き、達成感を味わいながら課題を進めることができます。まずは、すばるの教室で力を付け、少しずつ自分の学級でも、同じように学習へ取り組むことができるようになってほしいと思います。

